

総合特別区域の進捗に係る評価  
[ライフ・イノベーション分野]

令和元年度

東九州メディカルバレー構想特区

[指定：平成23年12月、認定：平成24年7月]

I 目標に向けた取組の進捗に関する評価

i) + ii) の平均値  $(4.3+4)/2=4.2$

4.2

i) 取組の進捗

目標値に対する実績に基づく進捗度(当年度実績)

番号	評価指標	進捗度	評点
1	医療関連機器の市場化件数	144%	5
2	新規医療機器製造登録事業所・製造販売許可業者数	150%	5
3	新規輸出する医療関連機器を製造する企業	50%	2
4	新規海外医療技術人材育成数	722%	5

評価指標毎の進捗の評価の平均値  $(5 \times 3 + 4 \times 0 + 3 \times 0 + 2 \times 1 + 1 \times 0) / 4 = 4.3$

4.3

・1つの評価指標に複数の数値目標がある場合は、各数値目標の評価を寄与度に応じて加重平均する。  
(例) 評価指標1について、a、b、cという3つの数値目標があり、各数値目標の評点・寄与度がa:5・20%、b:4・10%、c:3・70%の場合、 $5 \times 0.2 + 4 \times 0.1 + 3 \times 0.7 = 3.5$ で、四捨五入して評価指標1の評価は「4」となる。

■ 地方公共団体による特記事項

※外部要因による数値への大幅な影響等があれば記載

ii) 取組の方向性に対する評価

専門家による評価の平均値

4.0

II 支援措置の活用と地域独自の取組の状況に関する評価

i)、ii)、iii) の平均値  $(2.2+3.5+4)/3=3.2$

3.2

i) 規制の特例措置を活用した事業等の評価

専門家による評価の平均値

2.2

ii) 財政・税制・金融支援の活用実績の評価

専門家による評価の平均値

3.5

iii) 地域独自の取組の状況の評価

専門家による評価の平均値

4.0

### Ⅲ 取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決に関する評価

(専門家所見(主なもの))

4.2

- ・海外医療技術人材育成と医療関連機器の開発実用化が着実に進んでいることが評価できる。県レベルのパートナーシップによる産官学協働事業の好事例である。
- ・保健医療人材の能力強化、医療水準の向上に関する研修を実施し、タイで日本式医療システムの普及・啓発等の取組を進めている点は国際貢献の点からも特筆に値する。
- ・コロナ禍の中で取組に支障が出ている面と新規参入の両面の存在が認識されている点は、的確な判断がなされている。
- ・「介護・福祉機器分野を含む医療関連機器産業の国際競争力及び産業競争力の強化と海外市場への展開」について、必要な規制緩和の検討や進捗が判る評価指標の設定が必要ではないか。
- ・評価指標(4)「新規海外医療技術人材育成数」の数値目標(4)－①「大分・宮崎両県の産学官による新規海外医療技術人材育成数」、数値目標(4)－②「上記のうち、血液・血管分野の新規海外医療技術人材育成数」については、新型コロナウイルスの影響について平常に戻った際に目標数値の見直しが必要である。
- ・海外医療技術人材育成については、人数だけでなく質の評価についても検討する必要があるのではないか。
- ・全体としてうまくいっており、大分県、宮崎県それぞれの成果が出ていることは分かるが、両県のシナジー効果がかかるようになるとなお良い。

専門家による評価(専門家の総合的な所見)の平均値

4.2

### 総合評価

I、II及びⅢを1:1:2の比率で計算  $(4.2+3.2+4.2 \times 2) \div 4=4$

4.0

(注)評価に係る評点及び表記の考え方については以下のとおり。

- ・評価は5～1(評点)で行う。
- ・進捗度は、100%以上を5、80%以上100%未満を4、60%以上80%未満を3、40%以上60%未満を2、40%未満を1とする。
- ・進捗度以外の評価項目における評点は、5:著しく優れている、4:十分に優れている、3:適当である、2:適当であると認めるには不十分である、1:適当であると認められないとする。